

岐阜県で豚コレラの発生を確認！

9月9日、岐阜県岐阜市の養豚農場において、家畜伝染病である豚コレラの患畜が確認されました（中国で続発しているアフリカ豚コレラではない）。
本病の発生は、国内では26年ぶりとなります。

豚コレラの症状

高病原性株の感染では100%の死亡率。

発熱、食欲不振、うずくまりといった一般的な症状に始まり、結膜炎、リンパ節腫脹、呼吸障害、便秘に次ぐ下痢がみられ、後躯麻痺や運動失調、四肢の激しい痙縮等神経症状が現れる。

最終的には起立困難となり死亡する。

発生の概要

- ◆農場
岐阜県岐阜市の養豚農場（繁殖豚79頭、肥育豚531頭）
- ◆経過
 - ・9月3日、飼養豚死亡の通報を受けて、検査を実施→豚コレラを否定。
 - ・9月5日、異常が収まらないため、検査を実施→豚コレラを疑う結果とはならない。
 - ・9月7日、異常が引き続き認められることから、改めて検査を実施→豚コレラを否定できない。
 - ・9月8日、家畜保健衛生所の検査により豚コレラの疑いが生じたため、農研機構動物衛生検査部門で精密検査→9月9日、豚コレラ患畜であることを確認。
- ◆対応方針
 - ・当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却、移動制限区域（発生農場から半径3km以内）の設定。
 - ・移動制限区域内の農場について、発生状況確認検査を実施。
 - ・発生農場周辺の消毒を強化し、主要道に消毒ポイントを設置。

豚、いのしし飼養者の皆様へ

飼養衛生管理基準の遵守により、本病の侵入防止・発生予防に努めていただきますようお願いいたします。

毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報をお願いいたします。

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(休日・夜間転送)
FAX:0774-52-2030